

議 事 録

1 日時

令和2年5月7日（木）
午後5時～午後6時40分

2 会場

和歌山市役所 11階 教育委員室

3 出席者

【教育長及び委員】

教育長 富松 淳
委員 藤本 禎男
委員 森崎 陽子
委員 波床 昌則
委員 打田 雅子

【事務局職員】

教育局長	津守 和宏	教育学習部長	坂下 雅朗
学校教育部長	東 康修	教育政策課長	天野 忠和
青少年課長	楠山 耕司	学校教育課長	古田 清和
学校教育課副課長	前田 いさ	教職員課長	竹内 伸之
教育研究所長	岡本 友尊	保健給食管理課長	福井 博之
少年センター長	中平 滋之	子ども支援センター長	高木 康子
教育政策課総務政策班長	楠本 佳章	教育政策課企画員	森 一樹

4 開会宣示

富松教育長が、開会を宣示。

5 署名委員指名

署名委員に森崎委員を指名。

6 報告

富松教育長

本日は、報告が2件となっています。報告第4号については、会議規則第5条第6号に当た
るもので、秘密会が適当だと思いますが、いかがでしょうか。

委員一同

異議なし。

富松教育長

異議なしと認め、報告第4号については、秘密会とします。

報告第3号 4月臨時市議会について

富松教育長

それではまず初めに、報告第3号「4月臨時市議会について」説明をお願いします。

東学校教育部長

それでは、報告第3号「4月臨時市議会について」、概要を報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症対策関連の補正予算を、急遽、4月臨時市議会に上程することとなり、和歌山市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条（臨時代理）の「緊急やむをえない理由」により、教育長の臨時代理とさせていただき、今回の報告となりました。

4月臨時市議会は、令和2年4月20日に開会し、21日に予算特別委員会が開かれ、22日に閉会しました。

資料の2ページをご覧ください。

上程した一般会計補正予算の事業概要です。

詳細につきましては、資料の3ページをお願いします。

市立小学校、中学校、義務教育学校及び高等学校の児童生徒が、学校休業期間中の家庭学習に使えるドリルや問題集などを購入するため、一人当たり5,000円を公費で負担するものです。

次に、資料の4ページをお願いします。

学校休業が延長されることを考慮し、受験を控えている中学3年生に対して、現在、小学校に配置しているタブレットパソコンを貸与するにあたり、有害サイト等へのアクセスを防ぐためのフィルタリングソフトを導入するものです。

次に、資料の5ページをお願いします。

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策により、令和5年度達成としていた義務教育段階の1人1台端末の整備を前倒しし、令和2年度中に整備を行うとともに、緊急時における家庭でのオンライン学習環境整備のためのモバイルルータを購入するものです。

平時は、教室内で最先端のICT教育を取り入れ、個別最適化された学びや創造性を育む学びを実現することを目指し、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時には、家庭学習に活用することを想定しています。

審議の結果、議案は可決、承認されました。

以上が、4月臨時市議会の概要です。よろしくをお願いします。

富松教育長

本来ならば教育委員会を開催し、議会の前に教育委員の皆様にご説明後上程しますと、説明を行うべきところだったんですが、4月20日、21日、22日に予算特別委員会が開かれました。

そこで、まず今東部長が言いましたように、児童・生徒約25,000人いるんですけど、1人5,000円の給付を行い、1年間でドリルとか学習環境のほうを、小学生低学年と中学

では値段が変わってくるのですが、一律5,000円ということで、家計の負担を助けるということで、支援をさせていただき予算です。

それからもう1つの581,000円というのは、先ほど言いましたように中学校3年生が受験を控えていますので、事前に勉強をする機会を作るということでパソコンの環境を調べました。

そこで、パソコンを持っている人と持っていない人を調べた結果、小学校にあるパソコンを中学生に貸し出すということで、そのためにはフィルタリングをして有害なサイトに入れないようにするというので、そのソフトを購入したのが581,000円です。

もう1つがGIGAスクール、今新聞で文科省が言っていることなんですが、1人1台のコンピュータ端末を本来は5か年計画とする予定だったのを、今回のコロナの関係で令和2年度中に全部のパソコンを揃えようということで、その予算が1,132,450,000円です。

この前の最終補正で各クラスのWi-Fi環境を整備しようということで、1,500,000,000円くらいの予算を上げていたと思います。それが今繰越になって進んでいるところなんですが、それに合わせてプラスで1人1台端末を購入していくということです。

急遽4月20日ということで教育委員の皆様にお諮りする機会がなくてこういう形になりました。

これに対して、何かご質問はございませんか。

波床委員

非常に子供達たちの学びに配慮した良い予算だと思うんですけども。

こういうハード面を整えても、それをきちんと運用できるかという問題があって、学校の先生方が今までこういう遠隔授業みたいなものとか、こういったパソコンにあまり長けてない方もたくさんいらっしゃるはずなんで、立ち上げるにあたってどのような配慮を要するかということを教育委員会として考えていくことが併せて必要だと思うんですけども。

この予算措置に関連して、その当たりの検討状況といいますか、どのようにお考えになっているのか、お聞かせいただければと思うんですけども、いかかでしょうか。

岡本教育研究所長

先生方のICT活用の力と言いますか、ICT活用指導力というものは毎年国の調査で測っているところですが、大体7割から8割程度の先生方が授業中のICT活用に対して良くできる、それから、まずまずできるというような肯定的な回答をしております。

ただ、やはり波床委員がおっしゃたように不慣れな先生もいらっしゃるかと思いますので、そちらは集合研修という形で研修を行いますと、どうしても興味のある方、それからもう実際使っている方ばかりが集まってしまいますので、学校ごとに訪問して、こちらから学校の方に積極的に働きかけて、学校で校内研修を行うような、地道な研修でございますがそのような形で先生方のICT活用指導力を高めていきたいと考えております。

富松教育長

こういう形で和歌山市の公立中学校で初めてさせてもらうんですけども、全国平均で5%ぐらいしかできていないというのが文科省の調査です。

先ほど森崎委員にお伺いしたら、信愛大学はもう双方向でやっているらしく、藤本委員にお伺いしたら和太もそういう形でやっているとのことで、大学とは違うかもしれないですけど、これから大きく変わっていく第一歩だと思います。

今、教育研究所長が言いましたように、いろんな問題が出てくると思いますが、このコロナを契機にと言ったらおかしいかもしれないですけど、危機管理上というか、こういったときはこんな授業ができるということを一層意識した上で、研修等を通じてやっていかなければならないと思っているんですが、やっていったらいろんな課題や問題点が出てくると思いますが、先生方だけでなく生徒の方の反応も全然見えていない。

ちなみに、この11日に城東中学校でデモンストレーションと言ったらおかしいんですけどもやる予定で、明日テストするんですが、11日にもしかしたらテレビに出るかもしれません。和歌山市でこういう授業ができるようになったということ。

11日で間違いはないね。

岡本教育研究所長

はい。城東中学校で11日です。

富松教育長

そこだけ捉えられますと、和歌山市全部でやっているように見られるんですが、決してそうではなくて、まだまだ始まったばかりなんで、その辺のレベルアップは当然地道な形でやっていかないとダメかと思っています。

津守局長

GIGAスクール構想というのが令和元年度に文科省のほうから打ち出してきました。

それ以前からも学校のほうでICT環境を整えて、ICTを活用した授業をやっていきなさいということ言われていたんですけども、なかなか地方では進まないという中で、さらに強力に打ち出してきたところなんですけども、ただ、令和元年度あたりですと、まだ学校の中だけで使うという想定でございました。

学校の授業の中でICTを活用するという想定で、文科省も5か年ぐらいでやろうかと進めていたんですが、このコロナがでてきて、急遽家庭に持って帰らせて、今教育委員さん方がおっしゃっているような双方向の授業をやったりとか、あるいはオンラインで利用できるWEBコンテンツでありますとか、オンラインのコンテンツを利用して家庭学習の支援のために使ってくださいよと、そういうことも考えていってくださいよというのが、本当にこのコロナと共にでてきた段階でありまして、確かに今ご指摘のあった点については、これからしっかりと先生方にこれを使いこなしていってもらえるような働きかけをしていかないといけないというのがありますが、そこまでの想定まではしていなかったところで急いでやっていかないといけないというのが現状であります。

富松教育長

いずれにしても先生方も大変だと思います。

世界のOECDの加盟国で、宿題をパソコンでするのが日本は最下位らしいです。

それだけパソコンを使っていないということで、今、津守局長が言ったように5年ぐらい前

から交付税措置で対応していたんですけども、全然進まなくて、再度5か年でやろうというところで、特にコロナが入ってきて、正直なかなかついていけないというのが実態です。

一生懸命東部長を筆頭に小学校、中学校に発破をかけていきますので、少し時間がかかると思いますが、なるべく追いついていけるような形でいきたいと考えています。

藤本委員

この家庭学習におけるドリルや問題集などの教材を購入にお金を付けていただいて大変嬉しんですけども、内容的にはどのように学校、児童、生徒に配っているのか教えていただきたいと思います。

古田学校教育課長

学校で使うドリルとか問題集を学校で一括購入して、それを使って登校日ごとに、宿題をしたりとか、確認したりとか、そういう形で活用しています。

藤本委員

後の部分でも出てくるんですけども、萩生田文部科学大臣が児童の4年生に渡したプリント、課題がきちんとできていれば、それが履修したと受け取ってもいいというふうな意見を言っているんですけども、僕は絶対にそういう児童が半分もいるとは思いません。

ですから、例えば今小学校4年生に角の大きさというのが算数でいえば一番始めの部分になるんですけども、それを各学校で配布されています。6年生であれば、6年生の一番始めの対称、線対称とか回転、そういったところから入っています。こういう学習はやっぱり難しいのではないかなと僕は思っております。

ですから、先ほどの4年生だったら3年生あるいは2年生の学習指導要領で確実に定着を図るといわれている掛け算とか割り算、余りのある割り算なんかをもう一度復習させるというふうなプリントのほうは僕は良いのではないかなと持っているんですけども、各学校に聞かせていただきますと、やはり、先、焦っている状況ですね。それは仕方ないと思うんですけども、4月のやる単元のを配って、あるいはその次の単元を配っている状況にあるので、そういったところは古田課長にお願いして、学校が6月に始まる、なんとか始めから時間を割いてでも教えるから、今はこういったところを確実に定着しといてよと言ってあげて欲しいというのが僕の意見です。

以上です。

古田学校教育課長

藤本委員がおっしゃるとおりだと思います。プリントだけで全てが進むというわけではありません。各学校によって異なりますが、自学できるようなプリント、吹き出しのコメントを入れて学習を支援するようなプリントを作ったり、いろいろ工夫はしていますが、なかなか全員が学習内容を理解するというのは難しいと思いますので、今、藤本委員がおっしゃったことをきちんと学校に伝えていきたいと思っています。

藤本委員

よろしくをお願いします。

富松教育長

他に、何かご質問等はありませんか。よろしいですか。

委員一同

はい。

富松教育長

大きな額が出てきたので対応もしっかりし、学校も始まっていないので宿題等いろんな課題があるが、予算もついているので頑張っていきたいと思います。

続いて秘密会となりますが、秘密会に入る前に「その他」で何かありませんか。

7 その他

天野教育政策課長

次回の教育委員会定例会の日程について、報告をさせていただきます。次回教育委員会定例会は令和2年5月14日（木）午後1時30分から教育委員室で開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

富松教育長

他に何かありませんか。ないようですので、これより秘密会に入ります。

8 非公開事案

—以下『』部分については非公開とする—

報告第4号 臨時休業中の学校の対応について

『非公開』